

令和6年度 仙台 BOSAI-TECH イノベーション創出促進事業
自治体提供課題詳細

タイトル	同報系情報提供システムに関する通信方式
提供自治体名	宮城県仙台市
掲載期限	令和6年9月12日まで

1. 解決したい課題の背景

- 仙台市では、災害時の住民への重要な情報提供手段として、防災行政無線による同報系情報提供システムを活用している。これまで、自営無線回線による整備・維持管理を行ってきたが、危機の経年劣化により更新が必要となっている。
- 現在の自営無線回線を活用した仕組みは、更新や整備にかかる費用が高額な点が課題となっている。更新にあたり、よりコストを軽減できる新たな技術・サービスを検討したい。

2. 実現したいこと

- 自営無線回線で実現していた以下の対災害性機能を維持しながら、従来のシステムに比べて更新・整備費用を安価に抑えられる仕組みを構築したい。
 - ・市の災害対策本部から、Push型の情報提供が可能なこと
 - ・一般の通信との災害時の輻輳に対して優位であること
 - ・戸別受信装置等を用いる場合には、操作が簡便または不要であること
 - ・設備は365日、24時間稼働可能であるとともに冗長化されていること
- 上記システムは、災害時以外にも平常時の運用に対し拡張性があることが望ましい。

3. 想定している技術（こだわらない場合はその旨を記載）

- IPDC
- 上記にこだわるものではないが、携帯電話回線以外の回線を用いることが望ましい。

4. 希望する実証時期・実証場所（現時点の想定）

- 令和7年1月頃、仙台市内での実証を希望する。

5. その他制約事項・補足事項（関連ホームページ等）

- 仙台市の同報系情報提供システム：仙台市津波情報伝達システム

(<https://www.city.sendai.jp/okyutaisaku/kurashi/anzen/saigaitaisaku/jishintsunami/dentatsu.html>)

- IPDC：総務省消防庁 住民への災害情報伝達手段

(<https://www.fdma.go.jp/mission/prepare/transmission/transmission001.html>)